

Illustrator編 3ステップでできるPDFの書き出し方

STEP 1

データ不備の確認をする

STEP 2

PDF形式で保存する

STEP 3

チェックをする

PDFを書き出す前に、データの不備がないか確認してください。

- アートボード
- トンボ
- 塗り足し
- RGB・特色
- 仕上げ線
- 天地方向

● アートボード

・版面位置はアートボードの中央に配置してください。または、アートボードを仕上げリサイズに、裁ち落としを3mmに設定してください。

・PDFのページについて

チラシ

両面を1つのアートボードにまとめずに、表面と裏面でアートボードを分けてください。

二折パンフレット

単ページではなく、見開きで作成してください。

無線綴じ・あじろ綴じ冊子の表紙

表1と表4の間に背表紙を付け、本文と分けて作成をしてください。

● RGB・特色

RGB画像は使用できませんので、貼り込み画像はCMYKに変換して貼り込みしてください。また、イラストレーターのオブジェクトもRGBカラー・スポットカラー（特色）は使用できません。



● トンボ

トンボはレジストレーションカラーで付けてください。スミ1色では印刷できません。

● 仕上げ線

仕上げ線を付けたままPDFを書き出すと、その線もそのまま印刷されてしまいます。削除か色なし設定か非表示にしてください。

● 塗り足し

仕上げサイズの周囲3mmに塗り足しを付けてください。

● 天地方向

PDFの天地方向は仕上げ同様に向きを調整してください。縦レイアウトと横レイアウトの混在で入稿をしないでください。

印刷用PDFの書き出しは、STEP1の設定が完了していれば数分で完了します。弊社では「PDF/X-4」を推奨しています。

- 「別名で保存」または「複製を保存」
- Adobe PDF プリセット「PDF/X-4」
- トンボと裁ち落とし

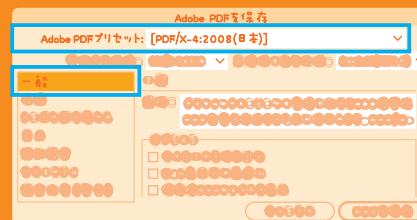
● 「別名で保存」または「複製を保存」

「ファイル」>「別名で保存」または「複製を保存」を選びます。ファイル形式で「Adobe PDF (pdf)」を選び、「保存」をクリックします。



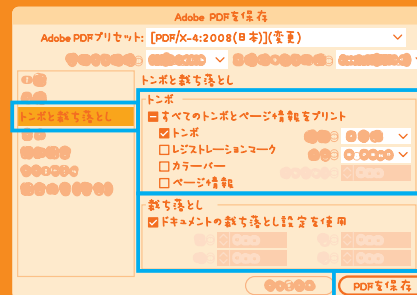
● Adobe PDF プリセット「PDF/X-4」

左メニュー「一般」の「Adobe PDFプリセット」から「PDF/X-4:2008(日本)」を選択します。



● トンボと裁ち落とし

- ・アートボードでトンボを含むサイズを設定した場合
左メニュー「トンボと裁ち落とし」の全ての項目にチェックを入れない。
- ・アートボードで仕上げリサイズを設定した場合
左メニュー「トンボと裁ち落とし」>「トンボ」に、「裁ち落とし」で「ドキュメントの裁ち落とし設定を使用」にチェックを入れる。



「PDFを保存」をクリック。

Acrobat Proの「プリフライト機能」を使ってチェックを行ってください。

- 仕上げリサイズ
- 塗り足し
- RGB・Lab・特色
- 版面位置
- フォント
- トンボ
- 色数

書き出したPDFはAcrobatで開き、絵柄確認を行ってください。

● セルフチェック

- 仕上げリサイズは正しいですか？
- 版面位置は中央ですか？
- 塗り足しを付けて作成されていますか？
塗り足しの絵柄は足りていますか？
- 冊子はページ単位のサイズでPDFが作成されていますか？
- フォントはすべて埋め込まれていますか？
- 色数は合っていますか？
- PDF上にRGB・Lab・特色は含まれていませんか？

※ Acrobat Pro の「印刷工程」>「出力プレビュー」にて色の使用状況を確認できます。

入稿前
チェックが
ラクラク!



PDF 検査アプリ
Connector

PDF入稿をされるお客様に無償提供中!!

作成したPDFをドラッグ&ドロップするだけで、印刷に適したPDFが判定できます。エラーや警告がある場合はレポートの書き出しができるので、不具合箇所への対応がラクラクです。

InDesign編

3ステップでできるPDFの書き出し方

STEP 1

データ不備の確認をする

PDFを書き出す前に、データの不備がないか確認してください。

- ページサイズ
- RGB・Lab・特色
- 仕上げ線
- 塗り足し
- 天地方向

● ページサイズ

- ・ ページサイズを仕上げサイズに、裁ち落としを3mmに設定してください。
- ・ PDFのページについて

チラシ

両面を1つのドキュメントページにまとめずに、表面と裏面でドキュメントページを分けてください。

二つ折パンフレット

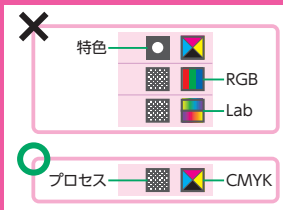
単ページではなく、見開きで作成してください。

無線綴じ・あじろ綴じ冊子の表紙

表1と表4の間に背表紙を付け、本文と分けて作成をしてください。

● RGB・特色

RGB画像は使用できませんので、貼り込み画像はCMYKに変換して貼り込みしてください。また、インデザイン・貼り込んだイラストレーターのオブジェクトもRGBカラー・Labカラー・特色は使用できません。「ウィンドウ」>「カラー」>「スウォッチ」の右側のアイコンで確認してください。



● 仕上げ線

仕上げ線を付けたままPDFを書き出すと、その線もそのまま印刷されてしまいます。削除か色なし設定にしてください。

● 塗り足し

仕上げサイズの周囲3mmに塗り足しを付けてください。

● 天地方向

PDFの天地方向は仕上げり同様に向きを調整してください。縦レイアウトと横レイアウトの混在で入稿をしないでください。

STEP 2

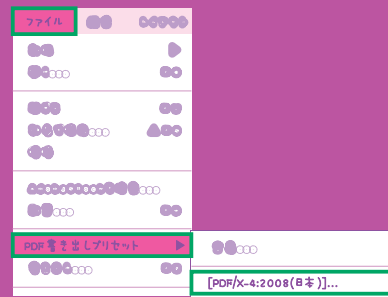
PDF形式で保存する

印刷用PDFの書き出しは、STEP1の設定が完了していれば数分で完了します。弊社では「PDF/X-4」を推奨しています。

- PDF書き出しプリセット「PDF/X-4」
- トンボと裁ち落とし

● PDF書き出しプリセット「PDF/X-4」

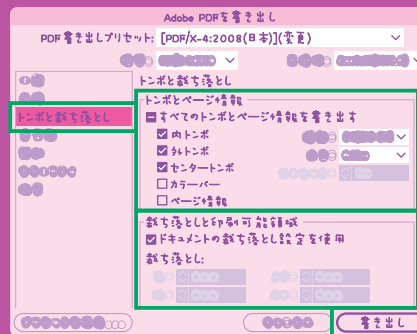
「ファイル」>「PDF書き出しプリセット」>「PDF/X-4:2008(日本)」を選びます。



● トンボと裁ち落とし

左メニュー「トンボと裁ち落とし」>「トンボとページ情報」で「内トンボ」「外トンボ」「センタートンボ」の3つにチェックを入れる。「裁ち落としと印刷可能領域」でドキュメントの裁ち落とし設定を使用」にチェックを入れる。

「書き出し」をクリック。



STEP 3

チェックをする

InDesignやAcrobat Proの「プリフライト機能」を使ってチェックを行ってください。

- 仕上げサイズ
- 版面位置
- トンボ
- 塗り足し
- フォント
- 色数
- RGB・Lab・特色

書き出したPDFはAcrobatで開き、絵柄確認を行ってください。

● セルフチェック

- 仕上げサイズは正しいですか？
- 版面位置は中央ですか？
- 塗り足しを付けて作成されていますか？
塗り足しの絵柄は足りていますか？
- 冊子はページ単位のサイズでPDFが作成されていますか？
- フォントはすべて埋め込まれていますか？
- 色数は合っていますか？
- PDF上にRGB・Lab・特色は含まれていませんか？

※ Acrobat Pro の「印刷工程」>「出力プレビュー」にて色の使用状況を確認できます。

**入稿前
チェックが
ラクラク!**

PDF 検査アプリ Connector

PDF入稿をされるお客様に無償提供中!!

作成したPDFをドラッグ&ドロップするだけで、印刷に適したPDFか判定できます。エラーや警告がある場合はレポートの書き出しができるので、不具合箇所への対応がラクラクです。